

ひな人形

—— 杉野家旧蔵 ——

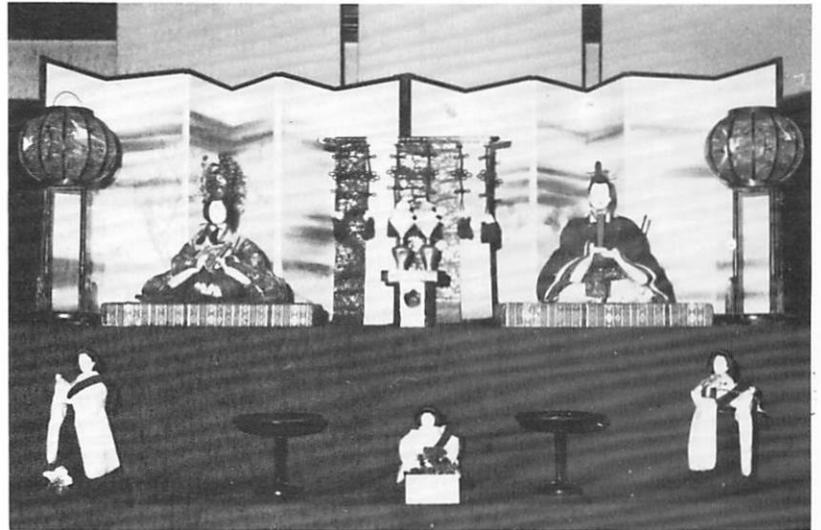
あかりをつけましょ ほんぼりに
お花をあげましょ 桃の花……
の調べを耳にするころ、函館の日の
光も何となく和らぎ、春のいぶ
きが感じられる。

年々生活の中から年中行事が消
え去るのに反して、ひな祭りにつ
いてはその衰えをしらず、逆に豪
華さを増している感すら受ける。

さて、ここで紹介するひな人形
は、杉野幸七氏から寄贈されたも
のである。親王びなは高さ30cmで
幕末か明治初期の所産と考えられ
ており、古今びなの流れをくむも
のである。頭の髪が技巧的で容貌
は親しみやすく、衣裳は金らん、
黒りんず、金糸などを使っており
美しく見える。

三人官女、五人ばやしなどは後で買い足したものであり、
「明治参拾年三月拾六日起」と箱書きされており、箱内ラ
ベルからは京都で作られたことが理解できる。これらの人
形は、親王びなに比べるとやや小ぶりになっている。その
他、実物を正確に縮小した漆器の飾り物、長持、たんす、
火ばち、碁盤などの道具類も多数含まれている。

杉野氏の曾祖父は、安政年間の箱館開港当時に弁天町で



親王びなと三人官女

「能代屋」という船具店を営んでいたといわれ、明治27年
発行の「函館実業者便覧」によれば、杉野三次郎が弁天町
21の所在において雑貨および和洋船具商を営んでいたこと
がわかる。

このことから、函館において商人が活躍しはじめた時期
や、大火の発生件数などの歴史性からみて杉野家旧蔵のひ
な人形、特に親王びなについては貴重な資料である。

(根本)

昭和60年度特別展

“商いの顔、開催される

昭和59年度の特別展は、幕末から明治初期にかけての北海道開拓を中心とした歴史的側面を取り扱った展覧会であった。そして、この時期は函館の経済的基盤を築いた時期でもあった。つまり、函館は早くから北海道の要地として経済的にも繁栄を誇った港町で、現存する町並みの景観の中にもそれを見ることができる。しかし、町並みにおける建物は注目されてきたが、その他の景観要素には関心が薄かったようである。

本特別展は、このようなことを踏まえて商家に視点を据え「商いの顔」というテーマにまとめたもので、なつかしの看板、暖簾、ポスターを中心に紹介し、これらの資料を通して函館の一端を知ってもらうことを目的とした。

展示コーナーは「商家の顔…商人のエネルギーは印ものから感じられないか!」「なつかしの顔…モノクロームの世界は古くさいだけか!」「函館の顔…町の景観はその地域の顔ともいえないか!」の3つのサブテーマに分け、導入・



展示風景 (その2)

各論・地域性という流れを考えた。また、過去への懐古に終わることなく現在との比較を展示の中に取り入れた。

展示資料数は、途中一部展示替えを行なったが約200点が出品された。中でも特に目を引いていたのは、昭和ネオン工業所蔵の看板、日本民芸館所蔵の暖簾、たばこと塩の博物館所蔵のポスター類などで、当地においてなかなか見ることができないものである。また、その資料のすばらしさには観覧者の反応からもうかがい知れた。

今回の特別展は昨年引き続き五稜郭分館において昭和60年7月16日から9月1日の42日間開催され、観覧者数は10,247人であった。

最近「看板娘はどこへ行った」という言葉を耳にするが、商いの顔たるものがだんだん不鮮明になっている時だけに、この特別展が日常生活の中で、このような点について考えるきっかけを与えることができた。(根本)



展示風景 (その1)

昭和60年度科学教室から

市立函館博物館の第29回科学教室は、五稜郭分館科学教室および函館市青年センター2階会議室の2か所を会場として、昭和60年5月から11月の初旬までの7か月間にわたって、計10回開催された。内訳は天体観測会7回、植物野外観察会2回、昆虫観察会1回である。

対象は市内の小学校4～6年生(高学年)で、定員を45人とし、申し込みは電話で受け付けることとしている。

天体観測会だけは夜間のため、保護者の同伴を原則としている。

さて、天体観測会については春の星座観測会、夏の星座と七夕観測会、秋の星座観測会、冬の星座観測会、太陽の観測会、惑星観測会とハレーすい星の話、月の観測会が行なわれ、これらは大変人気があって多くの参加者を集めている。

講師の津川軍次郎氏による天体資料、「星座物語」の映画の上映、スライド映写、天体望遠鏡などの説明、そして晴天の午後8時頃になると、館前の広場で、天体望遠鏡を使って、天体の位置を確認をし、宇宙の神秘を見ながら楽し

く過ごした。

植物野外観察会は五稜郭付近と函館山で行なわれ、五稜郭付近の観察会は講師宗像和彦氏から植物自生状態の説明を受けたのち、現場で観察をした。函館山の観察会は、長い道程を歩くので事故がないように注意を払った。

昆虫観察会は講師の中嶋康二氏によって昆虫供養祭を行なった。その後、昆虫の採集、昆虫の種類やその形などを説明、また「昆虫の冬の標本」の映画を上映した。

今年度の科学教室の参加者の総人数359人であったが、天体に参加した小学生を学校別に分けると、参加者の最も多いのは駒場小学校、つづいては北日吉小学校、函館付属小学校の順になっている。

丁度、来年度(昭和61年度)は、五稜郭分館で科学教室がはじまって30年になる。

特に天体については道南では数少ない活動の一つである。これからも多くの天文マニアを育てていく講座となるであろう。(野村)

事業報告 (59. 1. 1~59. 12. 31) 抄

◎資料管理・整理・保存

○受入 (一部前年のものを含む)

- ・油彩 (駒ヶ岳・田辺三重松作) 1件
【大橋重太郎氏寄贈・函館市田家町4-1】
- ・古銭 8件13点
【渡辺てつ子氏寄贈・函館市栄町12-23】
- ・柱時計 1件
【工藤明治氏寄贈・函館市湯川町2丁目25-2】
- ・刺子他 2件6点
【佐々木 節氏寄贈・函館市青柳町25-12】
- ・セイウチ牙 1件1組
【高橋幸雄氏寄贈・上磯郡上磯町茂辺地255の2】
- ・小札黒漆塗具足他 16件19点
【堺 和吉氏寄贈・函館市駒場町7-14】
- ・三つ重ね盆 1式3点
【津山哲男氏寄贈・函館市山の手3丁目46-12】
- ・書 1件
【若狭天真氏寄贈・函館市宝来町6-9】
- ・詩書 (榎本武揚・絹本墨書) 1件
【和田貞一氏寄贈・
東京都目黒区中目黒4-12-7-801】
- ・下駄他 2件2点
【山下 実氏寄贈・函館市元町14-13】
- ・琴 1件
【中村千代太郎・函館市山の手3丁目28-13】
- ・駕籠 1件
【永井正尚氏寄贈・函館市船見町21-11】
- ・看板他 3件8点
【山脇 保氏寄贈・函館市亀田本町56-14】
- ・天草採り他 6件10点
【長谷文吾氏寄贈・函館市住吉町11-12】
- ・人形他 14件14点
【若狭与志一氏寄贈・函館市弁天町12-5】

○整理

児玉コレクション整理
自然科学資料 (動物) 整理

○保存

ばく涼

本館(10月15日~31日)、分館(10月1日~13日)、資料館
(10月22日~25日)

○貸出

函館市北洋資料館常設展示 31件 (4月1日~3月31日)
旧函館区公会堂常設展示 2件 (4月1日~3月31日)
「火にかける道具たち」展 1件
(4月10日~5月30日・東京ガス銀座ポケットパーク)

第4回大北海道の観光と物産展「ロマンをはこぶ街函館」
17件 (5月11日~5月21日・三越札幌店)
日中貨幣展—三千年の文化交流— 4件 20,106点
(10月9日~12月5日・上海博物館)
海浜のキッチン展 6件
(9月5日~11月22日・北海道立近代美術館)
「日本の陶磁」展 1件
(10月1日~12月10日・東京国立博物館)
「知っていますか。イカのお話展」 65点
(10月15日~10月24日・丸井今井函館支店)

◎展示

○特別展

商いの顔 (分館 7月16日~9月1日)

○企画展

ひな人形展 (資料館 2月23日~3月3日)
いさり火展—函館イカ物語—
(本館 5月1日~5月31日)
新収蔵資料展 (本館 5月1日~5月31日)
よろいかぶと展 (分館 5月1日~5月19日)

○常設展

展示替 (本館 10月)

○秘蔵っ子コーナー

(本館 5月~12月) 7回

◎教育普及

○市民講座 (5回 151名)

商いの顔 (7月24日)
親と子の土器づくり (8月9日)
オロッコの文様 (9月21日)
史料と箱館戦争史跡見学会 (10月6日)
わら草履をつくる会 (11月6日)

○科学教室 (10回 359名)

春の星座観測会 (5月18日)
太陽の観測会 (6月15日)
植物野外観察会 (6月22日)
夏の星座と七夕観測会 (7月6日)
植物野外観察会 (8月9日)
惑星観測とハレーすい星の話 (8月17日)
昆虫観察会 (9月21日)
月の観測会 (9月28日)
秋の星座観測会 (10月19日)
冬の星座観測会 (11月9日)

○出版

3月1日 館報「サラニップNo.24」発行

○調査・視察・団体観覧

- 2月20日 北海道大学秋山助教授視察
- 3月19日 大阪市立博物館神山氏資料調査
- 3月26日 道立近代美術館柴学芸員資料調査
- 3月31日 北星学園女子短期大学福山助教授資料調査
- 4月24日 ハリファックス市長視察(分館)
- 5月22日 埼玉県草加市議会議員視察
- 5月24日 北海道開発局長一行視察
- 6月2日 埼玉県熊谷市教育委員一行視察
- 6月25日 千葉県教育庁文化課博物館準備室視察
- 6月26日 蘭越町社会教育委員一行視察
- 7月3日 長崎県福井市議会議員一行視察(分館)
- 7月20日 フレッチャー法律外交大学院大学一行視察行視察
- 7月21日 北海道教育大学函館分校附属中学校 104名観覧(郷土資料館)
- 7月23日 国学院大学博物館学研究室一行見学実習
- 7月30日 徳川美術館長視察
- 8月8日 岐阜市議会議員一行視察
- 8月13日 ソ連作家同盟クザーノフ氏視察
- 8月30日 文化庁佐久間技官一行視察
- 9月6日 函館市立深堀中学校 184名観覧(郷土資料館)
- 9月7日 埼玉県埋蔵文化財センター資料調査
- 9月19日 弘前大学田中教授一行視察
- 9月20日 函館市立桔梗中学校 130名観覧(郷土資料館)
- 9月21日 北海道埋蔵文化財センター視察
- 10月1日 国立博物館学芸部松浦先史室長資料調査
- 10月2日 青函市民文化交流視察団視察
- 10月3日 厚沢部町複式教育研究会視察
- 11月20日 宮城教育大学附属中学校高橋副校長視察
- 11月24日 東京大学理学部附属植物園邑田氏資料調査
- 11月26日 青森県埋蔵文化財センター一行視察
- 11月30日 小樽市博物館一行資料調査
- 11月30日 北海道文化財研究所長資料調査
- 12月22日 道立近代美術館学芸部長視察
- 12月24日 苫小牧市博物館長視察

○写真撮影・提供・転載許可

博物館資料の写真撮影など64件

○実習生受入(1名)

国士館大学 (9月6日~9月21日) 1名

◎調査活動

「五稜郭」箱館戦争の調査研究並びに資料収集
西部地区の歴史的調査研究並びに資料収集

◎会議出席

○博物館協議会

博物館協議会開催 (5月30日)

○博物館大会

- 日本博物館協会館長会議・総会に加納館長出席 (6月27日~28日)
- 北海道博物館大会に小坂主事出席 (7月16日~17日)

◎人事移動

- 味方 昭係長 図書館奉仕係長に異動(5月1日付)
- 三島義光 分館庶務係長発令(5月1日付)
- 今岡 洗主事 市民部国民保険課に異動(5月15日付)
- 成田昭三主任発令 (5月15日付)
- 成田昭三主任退職 (12月10日付)

入館者統計

昭和60年常設展示 (60. 1. 1~60. 12. 31)

月別	本館	五稜郭分館	郷土資料館	計
1	174人	323人	166人	663人
2	165	1,068	345	1,578
3	519	1,186	736	2,441
4	850	1,758	415	3,023
5	(企画展)	15,864	1,341	17,205
6	5,462	12,665	926	19,053
7	1,246	3,017 (特別展)	1,455	5,718
8	2,798	(特別展)	2,854	5,652
9	1,546	6,244 (特別展)	1,484	9,274
10	608	2,243	901	3,752
11	308	1,509	321	2,138
12	145	273	192	610
計	13,821	46,150	11,136	71,107

昭和60年度特別展 五稜郭分館 (7.16~9.1)

月別	個人	団体	計
7	2,519人	267人	2,786人
8	6,942	412	7,354
9	84	23	107
計	9,545	702	10,247

昭和60年度企画展 博物館本館 (5.1~5.31)

月別	個人	団体	計
5(計)	3,983人	9,438人	13,421人

Hakodate City Museum News

SARANIP - サラニップ - No.25 1986. 3. 15発行
編集・発行 市立函館博物館 (TEL0138-23-5480)
北海道函館市青柳町・函館公園内 (〒040)